



「富士山の恵み 柿田川」 親子で水に親しむ 自然観察会

令和7年8月30日(土)に、公益財団法人柿田川みどりのトラスト及び柿田川自然保護の会を案内役として迎え、柿田川自然観察会を実施しました。今年も多くの方々からの申し込みがあり、当日は59名に御参加いただきました。

開会式は湧水広場にて、(公財)柿田川みどりのトラスト及び柿田川自然保護の会の漆畑会長(ふじさんネットワーク副会長)から、柿田川の自然についてのお話や、観察会にあたっての注意事項を伺いました。



楽しい観察会でした！



【※注意事項：ミシマバイカモ等の貴重な植物が生育しているので踏まないように気をつける。水流が強い区域等危ない箇所にテープを張っているので入らない。生き物に触る際は手を水で冷やす。捕まえて観察した生き物は必ず放流する。】

説明を受けた後に参加者は川に入り、魚やモクズガニなどの様々な生物をつかまえたり、バケツ等に入れて観察していました。川から引き上げたタモに生き物が入っていると、子どもも大人も歓声を上げていました。

残暑厳しい日差しの中でも、約15℃の湧水は長時間入っていると足が冷たく感じました。参加者の皆様には、普段入れない場所での貴重な体験を楽しんでいただくことができました。



生き物はいた？



MN×REPORT



富士山麓外来植物 撲滅大作戦Ⅰ

今年度第1回目の富士山麓外来植物撲滅大作戦を、令和7年6月7日(土)に西白塚駐車場で実施しました。株式会社環境アセスメントセンターの方を講師に迎え、38名が参加して外来植物の除去を行いました。



外来植物の見分け方を解説中

初めに概要の説明を聞いた後、会場内で実際にどのような外来植物が見られるのか、どのようにして見分けるのか等の解説を受けました。参加者は写真を撮ったり、実際に葉に触れたりしながら、真剣な表情で観察していました。その後、2班に分かれて、



外来植物の抜き取り作業を行いました。今回除去対象とした外来植物はセイヨウタンポポとハルジオン等で、合計16.5kgを除去することができました。

外来植物対策は継続することが重要です。今後も、撲滅大作戦等の具体的な活動や普及啓発を通じて、取り組んでまいりますので、皆様の御理解・御協力をお願いいたします。



さわやかな富士山と集合写真